

# 一 般 質 問 要 綱

平成 27 年第 2 回 3 月定例会

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
1	6	渡 部 信 夫	1 防災組織について	(1) 組織の現状と課題について伺います。 (2) 課題解決の進め方について伺います。
			2 水田農業について	(1) 米価下落対策について伺います。 (2) 構造転換の進め方について伺います。 (3) 賃借料情報について伺います。
			3 住民自治について	(1) 住民自治の基本的な考えを伺います。 (2) 新年度の取り組みについて伺います。
2	1 2	遠 藤 金 美	1 道路整備について	国道 459 号(喜多方市上三宮町吉川～山都町蓬萊間) の今年度の事業実績、繰越明許及び今後の事業計画の見通しについて伺いたい。
			2 教育行政について	小・中学校の再編(統合等)について伺いたい。
3	5	渡 部 一 樹	1 市長の政治姿勢について	(1) 地方創生に関する取り組み方針について伺いたい。 (2) 旧福島県立喜多方病院の利活用の方向性について伺いたい。 (3) 組織機構の見直しについて伺いたい。
			2 子育て支援について	(1) 保育所等の入所状況について伺いたい。 (2) 待機児童解消の具体的取り組みについて伺いたい。 (3) 認定こども園での完全給食実施について伺いたい。
			3 喜多方市商業振興ビジョンについて	(1) ビジョンの特徴について伺いたい。 (2) 目標設定の考え方について伺いたい。 (3) 推進体制と進行管理について伺いたい。 (4) 個店に対する支援の考え方について伺いたい。
4	7	江 花 圭 司	1 新年度に向けての現状把握と方針について	(1) 地方創生について ア 国の改正地域再生法にもとづく地域再生計画「提案と認定申請」の制度を活用していない理由を伺う。 イ 地方創生関連の各種制度活用方針と計画を伺う。 ウ 市町村補助「県サポート事業」枠の活用方針と計画を伺う。 エ 地域自主組織による課題解決型(小規模多機能自治) の実践状況を伺う。 (2) 米食の消費拡大について ア 米余りの状況と解消策を伺う。 イ トップセールスの実績と計画を伺う。 ウ 米飯業者に増量を求める考え方を伺う。

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				(3) 外国人観光客への対応状況について ア 5カ年の外国人来訪者数の国別推移を伺う。 イ 市内での消費状況分析を伺う。 ウ 観光庁で推奨している免税店設置状況を伺う。 エ 地方創生の支援制度を活用した取り組みは考えているか伺う。 オ 観光コンシェルジュの外国人対応状況について伺う。 カ 多国語表記の案内サイン計画について伺う。 (4) 新庁舎移行後の各課業務課題について ア 現状把握している課題について伺う。 イ その対策を伺う。
5	11	小林 時夫	1 防災・減災対策について	(1) 喜多方市地域防災計画について ア 防災上重要な建造(築)物の耐震性確保について イ 寒冷地対策の推進について ウ 災害時応援協定の締結について エ 救援対策について (2) 自主防災組織の拡充について ア 助成金拡充の延長について (3) 防災教育について ア 小中学校及び職員の防災教育について
			2 除雪対策について	(1) 除雪の連絡体制について (2) 除雪の安全対策について (3) 除雪費の見直しについて
			3 奨学金返済の減免制度について	奨学金返済の減免制度について
6	14	田部 輝雄	1 雇用創出に向けた取り組みについて	本市は合併して10年目を迎えます。この間、雇用創出については多くの諸先輩方や地域の皆さん方から貴重なご意見を頂きながら、更には地元の企業・団体のご協力を受けて取り組んできました。 しかし、市長の公約である「若者が定住できるまちづくり」には至っておらず、年々人口減少が続いています。昨年の12月定例議会における一般質問では、人口減少問題一本に絞って当局の考えをお聞きしてまいりましたが、改めて質疑の議事録を読み返してみましたが、答弁からは本市がどれほど危機的状況にあるのか認識されていることを伺うことが出来ませんでした。

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				<p>そこで、今回改めて雇用創出に向けた取り組みについて、私からの提案も含め伺います。</p> <p>(1) 緊急雇用創出基金事業について  (2) 27 年度における工業振興ビジョンの具体策について  (3) 喜多方市工場等立地促進条例改正後の動きについて  (4) 産学官金連携による新規起業の推進について  (5) 町外コミュニティ構想について  (6) 臨時職員雇用等管理規程の見直しについて  (7) 市内企業における新規採用の動きについて  (8) 農林業の振興による雇用創出について</p>
			<p>2 大型観光企画ふくしまDCと本市との関わりについて</p>	<p>この 4 月からいよいよ大型観光企画「ふくしまデスティネーションキャンペーン」が始まります。県は、福島県の復興と風評被害払拭に向け J R と共同して県内各地で多くの企画が予定されています。</p> <p>本市の場合、蔵馬車の復活と喜楽里博がメインとなっていますが、いずれにしても市民の皆さんのご理解とご協力が重要であります。</p> <p>そこで伺います。</p> <p>(1) 4 月 1 日から実施されるふくしまDC に対し、どのような具体的取り組みを検討されていますか。また、市民に対する発表はいつ行うのですか。  (2) ふくしまDC のテーマである「花・食」と本市のスローガンでもある「花でもてなす喜多方市」との連携をどう図っていくのですか。  (3) ふくしまDC の主な特別企画において、本市の場合、「蔵馬車」の復活と「喜楽里博」の 2 本が P R されていますが、この企画で何を求めているのですか。  (4) このキャンペーンを取り組むにあたって、従来の観光 P R 活動と比べて財政的な支援はどのようになるのですか。</p>
7	9	佐藤 一栄	<p>1 農地中間管理機構について</p>	<p>(1) 平成 27 年水稻作付に係る市内における農地中間管理機構の賃貸契約の現状について伺う。  (2) 農地中間管理機構賃貸における旧市町</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				<p>村ごとのバランスについて伺う。</p> <p>(3) 農地中間管理機構に農地を預けても借り手が無い場合の取り扱いについて伺う。</p> <p>(4) 借り手希望価格と貸し手希望価格のバランスについて伺う。</p>
			2 空き家対策について	<p>(1) 組織機構の見直しによる空き家対策係の必要性について伺う。</p> <p>(2) 空き家の利活用に伴い、利活用可能な空き家の台帳作成の内容について伺う。</p> <p>(3) 空き家利活用の公募に係る周知方法と内容について伺う。</p> <p>(4) 空き家への新規入居者に対する地域の条件整備の必要性について伺う。</p>
			3 旧県立喜多方病院の跡地利用について	<p>(1) 未利用地等利活用庁内検討委員会の検討報告では、屋内型の子育て支援施設として利活用することが望ましいとしたが、今後の進め方については、どのようにするのか伺う。</p> <p>(2) 今後、旧県立喜多方病院跡地の取得に向けて県との交渉をしなければならないが、いつどのような形で交渉するのか伺う。</p> <p>(3) 屋内型の子育て支援施設の建設を進める場合、有利な復興支援対策事業等を活用できるのか、また、その他の優遇制度はあるのか伺う。</p> <p>(4) 本市にとっては長い冬期間も課題であることから、先進地の事例を参考にして事業を進めることが良いと思われるが、本格的に事業が具体化され建設費用として、ふるさと納税を基金に積み立てする場合、寄附事業の項目に「屋内型の子育て支援施設に利用してほしい」として事業項目の追加をすることは可能なのか伺う。</p>
8	8	渡部 孝雄	1 人口減少への対応について	<p>(1) 持続可能な安心感のある地域社会づくりについて</p> <p>ア 本年は合併 10 年目にあたる。合併は財政再建効果を発揮したが、少子化・人口減少を加速させた。これまでの政策の基本的考えは財政的効率を主とした「選択と集中」による行財政改革の推進であったが、人口減少を安定に導くためには地域の自立、自治の発展を主眼とした中・長期的な政策が求められる。最少は集落から小学校区、中学校区あるいは公民館、支所単位での権限、予算の分散と</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				<p>地域の自立が長期的には人口の安定状態をつくっていくと考えるが市長の見解を求める。</p> <p>イ 中心部と周辺部を結ぶ公共交通は持続可能な地域づくり、何よりも日常生活にはなくてはならないものである。そこで、デマンド交通の利活用拡充策について尋ねる。試行期間が終了したところで利用料金の軽減についても検討されるべきと考えるが如何か。</p> <p>ウ 持続可能な地域づくりには、日常生活に欠かせない商店街や診療所等、地域の拠点づくりが不可欠と考える。地域の拠点としての各商店街の活性化策、診療所運営の状況、地域・家庭医療センター(ほっと☆きらり)の往診体制の見通しを伺う。</p> <p>(2) 子育て支援について</p> <p>ア 希望の保育所に入所が困難なゼロ歳から2歳児を対象とした対応を早急に求める。喜多方、塩川の中心保育所での臨時職員等での随時受け入れ態勢を求めるが如何か。また、認可・未認可での負担の差を解消する支援策は公平性の観点から重要である。支援策の拡充を求め見解を伺う。</p> <p>イ 結婚、出産、子育てまでの切れ目のない支援を実現する「子育てしたくなるまち」計画の整備を提案するが如何か。</p> <p>(3) 住みやすさの実現について</p> <p>ア 住宅政策だけで人口増となる地域がある。住環境整備政策の拡大を求め見解を伺う。</p> <p>イ 3人以上多子世帯向け公営住宅の設置、子育て世代の公営住宅所得制限の緩和について見解を求める。</p>
9	15	長澤勝幸	<p>1 市税等のコンビニ収納について</p> <p>2 放射性物質への対策について</p> <p>3 スポーツ振興について</p> <p>4 本市における地方創生の取り組みについて</p>	<p>(1) コンビニ収納の今後の進め方について</p> <p>(2) コンビニ収納導入での問題点について</p> <p>(1) バッジ式積算線量計について</p> <p>(2) 小学校農業科の対応について</p> <p>(1) 総合型地域スポーツについて</p> <p>(2) スポーツ振興環境整備について</p> <p>(1) 緊急的取り組みについて</p> <p>(2) 「地方版総合戦略」策定について</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
1 0	2 0	齋藤勘一郎	1 市民憲章について	これまでの検討経過及び進捗状況について
			2 総合支所庁舎建設について（塩川・山都）	(1) 建設計画の見通しについて (2) 今後の進め方について
			3 県道改良について	(1) 県道（熱塩加納・山都・西会津線）一ノ木地区の一ノ俣橋の架け替え及び周辺の整備の進捗状況について (2) 今後の見通しについて
			4 飯豊山の世界自然遺産認定に向けて	(1) 現状認識について (2) これまでの取り組みと今後について (3) 登山者数の推移について (4) 登山道、施設、山頂周辺の整備状況について
1 1	1	矢吹哲哉	1 安倍政権の「農政改革」に対する市長の見解と市政の対応について	(1) 農地と日本農業を企業とアメリカに全面市場開放するのが、安倍政権の「農政改革」のポイントと考えるが、市長の見解を伺う。 (2) 「活力創造プラン」（2013年12月決定）等に基づく具体的施策についての市政の対応を伺う。 ア 農地の集積をどのように進めるのか。国は農地中間管理機構が担うとしているが、集落、地域での合意形成と地域で地域の農地を責任をもって管理することが基本と考えるが、市はどのように農地集積を進めていくのか伺う。 イ 米の生産調整と直接支払交付金の廃止を2018年度から実施するとしているが、断固反対の立場で臨むべきと考えるが、市長の見解を伺う。 ウ 米作だけでなく園芸作物等への転換を促すとしているが、市は具体的にどのような施策を実施するのか伺う。 また、市独自の支援制度の創設等は検討しているのか伺う。 (3) 2年続いた米価暴落対策について ア 県は種モミ助成を決定したが、市として独自対策は検討しているのかどうか伺う。 イ 「米余り、過剰傾向は今後も続く、低米価も続く」と市長は言っているが、国が責任をもって米価安定化対策を打つべきと考えるが、市長の見解を伺う。

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
			2 合併 10 年目を迎えるが、合併についての評価と今後 10 年間の基本方向について、市長の見解を伺う。	<p>(1) 合併後の市政の変化についての市長の見解を伺う。</p> <p>ア 国保税、介護保険料は大幅に引き上げられたが、引き上げの推移と、それに対しての市長の見解を伺う。</p> <p>イ 「行革」のもとに職員の削減と臨時職員の増が進められてきたが、その推移と、それに対しての市長の見解を伺う。 また、臨時職員の 3 年雇い止めは続けるのか、見解を伺う。</p> <p>ウ 「役所が遠くなった」、「支所で物事が決められない」など、住民自治と市の自治力が低下したとの声に対し、市長はどのような見解か伺う。</p> <p>エ 新市建設計画と合併特例債事業の現状と市の財政計画の現状について伺う。 (ア) 新市建設計画全体の事業規模（計画）と現在の執行状況について (イ) 公債費比率と将来負担比率の合併後の推移と今後の見通しについて</p> <p>(2) 国は合併算定替を見直す方針（2015 年 1 月）を決定したが、これに対しての市長の見解と本市財政への影響について伺う。 ア 市長の見解について伺う。 イ 25 億円削減見積りが、3 / 4 は削減されない方針と報道されているが、それで基本的に良いのか伺う。 ウ 本市の財政計画の大幅な変更になるが、どのように今後進める方針か伺う。</p>
1 2	3	坂内鉄次	1 教育行政について	<p>(1) 教育委員会制度改正について</p> <p>(2) 社会教育・生涯学習の推進体制について ア 公民館体制について イ 社会教育委員の会議のあり方について ウ 市民活動支援センターのあり方について</p> <p>(3) 入田付地区活性化センターについて</p>
			2 市行政の職員体制について	<p>(1) 「定員適正化計画」について</p> <p>(2) 組織機構の見直しと職員配置について</p> <p>(3) 職員の安全衛生対策について</p>
1 3	2 4	佐藤昭大	1 会津大学との産学官連携、進捗状況について	<p>会津大学は、会津唯一の大学であり、地元として最も身近な会津大学との連携をどのように考えておられるのか。防災、市の政策展開においても、独自の考え方を参考にし、また、市のシンクタンク的存在として、お願</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
			<p>2 学力向上、教育百年の大計について</p> <p>3 ラーメンのまち、蔵のまち、太極拳のまちについて</p>	<p>いすることで、喜多方市の発展、市民の要望達成に役立つ存在と思うが、市の考え方、現状と将来に向かっての考えをお聞かせ願いたい。</p> <p>喜多方市の発展、街の活性化、市民生活の向上など、全てにおいて教育が基礎をなし、大事で大切なものは他にない。子供の頃から学習意欲を付け学業に励む子供に育て、100年と言わずとも 50 年後は何らかの型でその人は道を作り、その道を後に続く者が出て来る。</p> <p>日本も世界の中で、資源もない小国ながら発展をとげ、ノーベル賞 (22 人)、音楽、スポーツ、バレエ、医学や工学技術など、トップを走っている。それは高度な教育のお陰である。国全体の教育水準の高さが、全ての基礎をなしていると思う。今も励んでいるが、より一層の教育充実、向上に向かっての教育長の所感を伺う。</p> <p>(1) 全国に発信して、全国に知られ認知されているのは、喜多方ラーメンである。一層の宣伝や品質の向上、味に磨きをかけていただきたいと思うが、いかがか伺う。</p> <p>(2) 次に、蔵のまちは、三津谷の蔵、甲斐本家の蔵など、代表的な蔵もあるが、その他は、数はあるけれども、もう一つもう一歩何かしないと観る人にインパクトを与えることができないのではないか。経済的支援を含め対策を講ずるべきと思うが、いかがか伺う。</p> <p>(3) 太極拳も全国で太極拳のまちを宣言したのは、喜多方市が最初であり、だからこそ、全国連盟の役員の方や中国でも有名な先生が指導に来られる。このせっかくの宝をもっと光が放たれるようにすべきである。私もやらなくて恥ずかしいが、専属スタッフ、全国への発信に力を入れるべきと思われるが考えを伺う。</p>
1 4	2	田 中 雅 人	1 市長の政治姿勢について (公契約制度)	<p>市民の懐を暖める政治が求められている中、「公契約」が注目されている。公共工事や公共サービスを受注した企業で働く労働者が低賃金に苦しみ、住民の税金を使った事業が「働く貧困層 (ワーキングプア)」を大量に生み出しています。こうした労働者は、1,100 万人を超えています。</p>



通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				<p>この劣悪な労働条件を改善するためには、公共工事や公共サービスを発注する公的機関（国・自治体など）と受注した事業所との間で結ばれる契約（公契約）に、生活できる賃金など、人間らしく働くことのできる労働条件を確保するのが公契約法と公契約条例です。</p> <p>(1) 全国的に広がりをもたせる「公契約制度」について、市長の認識を伺う。</p> <p>ア 2009 年、全国に先駆けて野田市「公契約条例」（千葉県）が成立して以後、全国で取り組みが広がる実情と自治体が期待する点について伺う。</p> <p>イ 本市においても入札改善に本制度が有効と考えるが是非を伺う。</p>
			2 原発事故での除染、賠償問題で市の対応を伺う。	<p>(1) 本市への賠償全般（年度ごとの金額・内容）について伺う。</p> <p>(2) 自主除染における東京電力の賠償実情について</p> <p>ア 市の取り組みと市民の対応状況について</p> <p>(3) 雪解け後の市の除染計画について伺う。</p> <p>(4) 本市への避難者 269 名（12 月 1 日時点）と市の関わりについて</p>
			3 住環境の整備について（合併浄化槽）	<p>(1) 合併浄化槽の普及促進に向けた市の取り組みを伺う。</p> <p>ア 旧市町村ごとの普及状況（過去 5 年）について伺う。</p> <p>イ 公共下水道、農集排、合併浄化槽ごとのコストについて、市の事業負担分と個人の負担額に分けて伺う。</p> <p>(2) 普及促進のための各種補助金について</p>
15	21	渡部 勇一	1 市長の政治姿勢について	<p>(1) 林業による地産地消の考え方について</p> <p>ア 地場産木材の活用施策はあるのか。</p> <p>イ 活用増進の手法は、どのような考えの基にあたるのか。</p> <p>(2) 林業による就労機会の増加について</p> <p>ア 林業による雇用問題の解決手法とする考え方は</p> <p>イ その手法をとった場合の問題点と解決策をどのように考えるか。</p>